

産業構造審議会における
フロン類指定製品等に係る検討状況について
(検討状況報告)

平成26年5月
産業構造審議会フロン類等対策WG

1. 産構審における検討状況について

- 平成25年12月13日 フロン類等対策WG第1回会合
- 改正フロン法の本格施行に向けた制度のあり方について
- 平成26年2月24日 フロン類等対策WG第2回会合
- 空調機器に関する指定製品の考え方について
- 平成26年3月25日 フロン類等対策WG第3回会合
- 空調機器における指定製品判断基準について
 - 冷凍冷蔵機器における指定製品の考え方について
- 平成26年4月24日 フロン類等対策WG第4回会合
- 冷凍冷蔵機器における指定製品判断基準について
 - 冷凍空調機器以外のフロン類使用製品及び輸送機関用空調機器における指定製品の考え方について

2. 現在までの指定製品の判断の基準の検討結果概要

(1) 指定製品の目標値・目標年度

- ・改正フロン法の指定要件を満たすこととなる製品区分の全てについて判断基準を定める方針。
- ・代替冷媒候補に対応した製品の技術開発及び安全性評価等の状況に鑑み、まずは以下の製品区分を指定。
- ・今回指定対象外の製品については指定要件が整い次第、随時指定。

指定製品の区分	現在使用されている 主な冷媒及びGWP	環境影響度 の目標値	目標年度
家庭用エアコンディショナ ー（床置型等を除く）	R410A(2090) R32(675)	750	2018

店舗・オフィス用エアコンデ イショナー（床置型等を除く）	R410A(2090)	750	2020
コンデンシングユニット及 び定置式冷凍冷蔵ユニット （圧縮機の定格出力が 1.5kW 以下のも の等を除く）	R404A(3920) R410A(2090) R407C(1774) CO2(1)	1500	2025
中央方式冷凍冷蔵機器（5万㎡ 以上の新設冷凍冷蔵倉庫等に出荷され るものに限る）	R404A(3920) アンモニア（一桁）	100	2019

※第5回会合において、第4回会合で議論された自動車用空調機器、硬質ウレタンフォーム及び噴霧器（ダストブロワー）等について具体的な目標値・目標年度について検討を行う予定。

（2）評価方法

上記指定対象とすることとした製品の製造・輸入及びそれらの委託を行う事業者（「製造事業者等」）は、上記表の右欄に掲げる目標年度以降の各年度において国内向けに出荷する当該製品の使用フロン類の環境影響度（GWP値）の低減について、環境影響度（GWP値）を同表の左欄に掲げる区分名毎に事業者毎の出荷台数で加重平均した値が同表の中欄に掲げる目標値を上回らないようにすることとする。

3. 今後の予定

平成 26 年 5 月 27 日 フロン類等対策WG第5回会合（予定）

- 冷凍空調機器以外のフロン類使用製品及び輸送機関用空調機器等における指定製品判断基準について
- ガスメーカー等に係る判断基準の考え方について
- 指定製品に係る表示について

平成 26 年 6 月末 フロン類等対策WG第6回会合（予定）

- ガスメーカー等に係る判断基準について
- 指定製品に係る検討結果のとりまとめ 等

審議会終了後 パブリックコメント及びTBT通報

平成 26 年秋頃 政省令公布予定